



2008年5月

Vol.17



特集

足助の匠 若き次世代の担い手

まんが 足助探索記 「職人さんはかっこいいな」

コラム 「塩路郎男のこだわり」

お知らせ 花飾りWALK with ちんどん屋 スポンサー募集

モノ作りこそ原点。
今号では、伝統の技を受け継ぐ職人と、若き
後継者にスポットあて特集してみました。



1日中にぎやか。。。。

花の街あすけ

花飾りWALK with ちんどん屋



日時 平成20年6月14日午後1時から4時

○ちんどん屋 4組の競演

午後1時～3時 ちんどん町内練り歩き
午後3時30分～4時 ちんどんコンテスト 於 新町小松邸前

○花苗無料配布(3回) (財)豊田市公園緑地協会 提供

午後2時 先着100名 於 新町小松邸前
午後3時 先着100名 於 田町商業会館
午後4時 先着100名 於 新町小松邸前



ちんどん屋スポンサー募集

「花の街あすけ」推進委員会が主催をするイベント「花飾りWALK with ちんどん屋」では、ちんどん屋の本来の仕事である宣伝活動をしなが町内を練り歩きます。その際のスポンサーを募集します。

募集店舗数 5店(ちんどん屋1組につき1店舗)
スポンサー料 20,000円
申込先 「花の街あすけ」推進委員会 事務局 長橋 朗 Tel62-0352

塩路郎 男のこだわり

ほかほかと暖かい陽気に誘われて、一段と軽やかな足取りで散歩に勤しむ日が続くが、本格的な夏を迎える前に気分転換と体力づくりは欠かせない。塩路は本日も中馬の町並みを楽しむことにこだわりを持ちながら、元気に前進中なのである。

こだわりと言えは嬉しいことに、生まれながらの故郷を愛し、古くから伝わる技術を大切に受け継ぎ、誇りを持って黙々と仕事をこなしている人々がこの町には今でもしっかりと存在している。

足助の町人は彼らを尊び「匠(たくみ)」と呼ぶ。物を創り出すことにこだわり続け、その手法には一切の迷いや妥協はなく、作品の一つひとつは自信に満ち溢れている。さらに感心していたきたいのは、そういった技術が一代限りで終わりを告げるのではなく、新たな世代へ「継ぐ」ことなく脈々と受け継がれていることである。技術の習得の過程には、当然のことながら教科書も説明書も存在しない。目を凝らし、耳を傾け、手で探り、研ぎ澄まされた五感が確かな作品を創り上げていく。そして、今となっては、採取することさえ困難になってしまった貴重な素材を用いて創作に心血を注ぎ、目鼻がついてひとつの作品

として出来上がっていく様には深く唸ってしまうのである。

わしも足助の巨匠が丹精込めて作り上げた逸品の愛用者だが、使いやすさや、住みやすさだけでなく、眺めているだけで存在感や歴史がひしひしと伝わってきて、体中に感動を覚えずにはられない。そこには、コストや量産などという軽薄短小な言葉はお呼びではなく、本物の重さに恐れをなして一目散に裸足で逃げ出していく。深い愛情を覚えずにはいられないのは、愛用者であれば理解していただけのだろう。是非これからも人々を感動させる作品づくりに頑固にこだわって、若い世代の舵取り役をお願いしたい。

わしも頑固さでは横綱を張り続けていづもりだが、こんなにも素晴らしい「匠」の後継者が、次々と現れ、互いに「鎬(しのぎ)」を削りあうようなまちづくりを目指して、これからも命を燃やしていこうと思ふんじやよ。

足助の若い衆よ、その腕と可能性を磨いてみんなか?そしていつの日か、この老いぼれ相手に自らが磨き上げた技術と蘊蓄(うんちく)を傾けてみんなか?塩路は首を長くして待つとぞ。